

カリキュラム区分		5カリ		シラバス区分		大学院		
科目区分	科目コード	履修時期		開講専攻	選択区分	科目名 (上段: 和名、下段: 英名)	時間	単位
		学年	学期					
専門分野	M322	1年	通年	医療技術科学	必修	特別研究 I Advanced Research I in the Specialty Division	120	4
担当教員								
則松 良明	山田 武司	山口 文徳		草薙 康城	脇坂 浩之		松村 美紀	
竹内 一人	石田 也寸志	美間 健彦		高田 智世	岡村 法宜・瀧 智子		祇園 由佳	
関連するDPキーワード (看護学専攻)								
	① 看護に関する理論学習を通して経験を意味づける力を身につけている。							
	② 人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力を身につけている。							
	③ 論理的に思考し他者にわかりやすく説明する力を身につけている。							
	④ 看護実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。							
	⑤ 看護実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法と態度を身につけている。							
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。							
関連するDPキーワード (医療技術科学専攻)								
<input type="radio"/>	① 臨床検査学について自ら深く学習する力を身につけている。							
<input type="radio"/>	② ヒトの体の仕組みや機能を科学的に説明する力を身につけている。							
<input type="radio"/>	③ 健康・病気について論理的に思考し他者に分かりやすく説明する力を身につけている。							
<input type="radio"/>	④ 臨床検査実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。							
<input type="radio"/>	⑤ 臨床検査実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法・技術を身につけている。							
<input type="radio"/>	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。							
授業目的								
選択した研究指導領域において、教員の指導を受けながら各自の専門領域における研究課題を探究し、研究計画書を作成することが出来るようになる。そして、この過程を通して自身の専門性が高まるようになるとともに、地域の保健医療に寄与できる研究力を身につけることが出来るようになる。								
到達目標 (授業目標)								
①文献の検討や予備実験の実施ができる。								
②研究課題を明確にし、説明できる。								
③研究計画書の作成と発表会で説明できる。								
授業計画 (項目・内容与方法・担当者)								

授業概要	<p>1～20回 文献検討、予備実験 21～40回 研究課題の明確化 41～60回 研究計画書の作成、発表会</p> <p>【生体防御学領域】 (山田武司) ・獲得免疫に焦点を当てた感染防御および腫瘍抑制に関する研究課題の探求と研究計画書の作成指導を行う。</p> <p>【生体機能検査学領域】 (岡村法宜・瀧 智子) ・種々の生体信号計測による高次脳機能の解析・評価に関する研究課題の探求と研究計画書の作成指導を行う。</p> <p>【病態情報解析領域】 (山口文徳) ・細胞の増殖・分化のメカニズムや機能分子に注目し、その機能破綻によって生じるがんや中枢神経変性疾患の検査・診断・治療に関する研究課題の探求と研究計画書の作成指導を行う。 (脇坂浩之) ・頭頸部がんを中心に、がんの診断、病態、病因に関する研究課題の探求と研究計画書の作成指導を行う。</p> <p>【血液病態検査学領域】 (竹内一人) ・血液疾患の病態、病因に関する研究(がんゲノム解析や高齢者悪性リンパ腫の予後予測と標準治療の確立など)に関する研究課題の探求と研究計画書の作成指導を行う。 (祇園由佳) ・リンパ増殖性疾患の病態、病因に関する研究課題の探求と研究計画書の作成指導を行う。 (石田也寸志) ・小児がんの病態と病因(遺伝的素因、がんゲノム分子標的治療など)に関する研究課題の探求と研究計画書の作成指導を行う。</p> <p>【分子細胞生物学領域】 (檜枝美紀) ・細胞核構築およびその機能に関する研究課題の探求と研究計画書の作成指導を行う。</p> <p>【遺伝子検査学】 (高田智世) ・疾患と関連するゲノムの解析や遺伝子の機能や発現に関する研究課題の探求と研究計画書の作成指導を行う。</p> <p>【感染制御学領域】 (美間健彦) ・薬剤耐性菌の解析、毒素産生制御の解明、細菌毒素の再生医療への応用などに関する研究課題の探求と研究計画書の作成指導を行う。</p> <p>【病理細胞診検査学領域】 (則松良明) ・種々の臓器での癌およびその前癌病変における細胞診断基準の策定に関する研究課題の探求と研究計画書の作成指導を行う (草薙康城) ・子宮内膜症、子宮頸癌等の診断、病態、病因に関するに研究課題の探求と研究計画書の作成指導を行う。</p>
	成績評価方法及び基準
<p>研究計画書の作成(60%)、研究計画発表(40%)により評価する。トータル60点以上を合格とする。</p> <p>【研究計画書の作成】</p> <p>①研究題目は適切であるか ②研究の背景・目的・目標が明確であるか ③計画書が学術的な記述法で適切に記載されているか ④研究方法が適切であるか ⑤倫理的配慮が適切であるか ⑥今後の実験計画が具体的でかつ適切であるか ⑦引用・参考文献が適切に収集され、文献の質についての吟味がなされているか ⑧収集された情報に基づいて、自分の研究に活かそうとされているか</p> <p>【研究計画発表】</p> <p>①発表は適切に構成され論理的に展開されたか ②発表スライドは適切に作成されたか ③発表の態度は適切であったか ④質疑の内容を正しく理解し、適切に回答されたか</p>	
教科書	随時、資料を配布する。
参考図書等	
授業時間外の学習について(授業準備のための指示)	

研究指導計画書に沿って、主体的に学習を進めてください。

関連科目

前科目	各領域の特論および	M322	特別研究 I						
後科目									

実務家教員

備考

--